

## 他都市の事例

## ■MICE

地区名	福岡市	横浜市	神戸市
	都心部ウォーターフロント	みなとみらい21	ポートアイランド
市街地形成の分類	土地利用転換型（複合開発）+既成市街地	土地利用転換型（複合開発）	新市街地形成型（複合開発）
面積(MICEゾーン)	約180ha(約17ha)	約186ha(約10.1ha)	約830ha(約16ha)
総展示面積	約15,500m <sup>2</sup>	約20,000m <sup>2</sup>	約13,600m <sup>2</sup>
地区概要	福岡県福岡市博多区石城町	神奈川県横浜市西区みなとみらい	兵庫県神戸市中央区ポートアイランド
	<p>○北側は主に港湾用地（物流系施設、客船ターミナル等）とコンベンション用地（マリンメッセ福岡、国際会議場等）となっている ○南側は1998年から都心居住推進を目的とした「都心居住・博多部振興プラン」が進められており、駅住近接の市街地が広がっている ○1927年博多港は第2種重要港湾に指定されてから、港湾修築計画が具体化し、国の直轄工事として工事が開始され、現在の中央ふ頭の一部が完成 ○博多港は国際乗降客数が21年連続日本一 ○外国船社クルーズ客船寄港数も日本一（H21、H24）</p>	<p>○ランドマークタワーやオフィスビル開発を推進する「中央地区」、赤レンガ倉庫、コスモワールドなどがある「新港地区」、百貨店やスカイビルがある「横浜駅東地区」に分かれる ○1980年代に開発が行われる以前は、三菱重工業横浜造船所、国鉄高島線の東横浜駅（貨物駅）、操車場、高島心頭などがあった ○1979年に「横浜市都心臨海部総合整備計画」基本構想が発表され、三菱重工業横浜造船所等の移転完了と共に1983年に「みなとみらい21」事業として着工（埋立部は76ha）</p>	<p>○島北部の第1期は1966年着工（1981年竣工）、島南部の第2期は1987年着工（2005年竣工） ○1981年に神戸ポートアイランド博覧会を開催 ○阪神・淡路大震災後、1期地区は港湾施設の統合にともなって島の西部の旧バスの壳が行われ、3大学がキャンパスを新しく開設 ○2期地区は、土地の売却が進まない中、神戸市が神戸医療産業都市構想を立案して医療機関や関連企業の誘致を行う（その結果、研究開発施設や医療関連企業が進出）</p>
人口	ウォーターフロント周辺地区(H25住基台帳、H24経済センサス) 就業人口：21,803人(121.1人/ha) 居住人口：13,232人(73.5人/ha)	みなとみらい21の計画人口 就業人口：190,000人(1,021.5人/ha) 居住人口：10,000人(58.3人/ha)	ポートアイランド(H25住基台帳、H24経済センサス) 就業人口：26,367人(31.8人/ha) 居住人口：14,800人(17.8人/ha)
主要駅・空港へのアクセス	・博多駅：バス20分 ・福岡（天神）駅：バス22分 ・福岡空港（国内線）：地下鉄・バス30分 ・福岡空港（国際線）：バス（乗り継ぎ）40分	・横浜駅：徒歩15分、みなとみらい駅：徒歩3分 ・新横浜駅（新幹線）：JR・地下鉄22分 ・羽田空港：バス40分 ・成田空港：バス1時間50分	・三宮駅：ポートライナー10分 ・新神戸駅：地下鉄・ポートライナー12分 ・神戸空港：ポートライナー10分 ・関西国際空港：ポートライナー・バス50分
MICE関連施設	・福岡サンパレス（1986）、国際センター（1986）、マリンメッセ福岡（2003）、国際会議場（2003） ・ベイサイドプレイス博多心頭（1991）、福岡サンパレス（ホテル、ホール）（1981） ・駐車台数：約1,300台	・横浜国際平和会議場（1991）、横浜インターナショナルホテル（1991）、国際横浜国際会議場（1994）、横浜国際協力センター ・横浜ランドマークタワー、クイーンズスクエア横浜（オフィス、ホテル、ホール、商業など） ・駐車台数：約1,200台 ・桜木町駅からバシフィコ横浜まで動く歩道とテッキで結ばれている ※MICE機能強化に向けて、施設拡充の事業化検討（約2.2ha）	・ワールド記念ホール（多目的ホール）、ポートビアホール（宴会場、会議室、レセプションホール）、神戸国際会議場（ホール、会議室など）、神戸国際展示場、神戸商工会議所会館 ・ポートビアホテル、クオリティホテル神戸、ホテルパールシティ神戸 ・各施設と駅が回廊で一体的に結ばれている
その他施設	・博多港国際旅客ターミナル、博多心頭旅客ターミナル ・中央心頭（温泉施設、フットサル場、免税店、駐車場等） ・総合病院、専門学校（6校） ・ゆめタウン、サニー	・横浜みなと博物館、横浜美術館、横浜海上防災基地（訓練施設など） ・ショッピングモール、遊園地（コスモワールド）、スポーツパーク、公園など ・結婚式場、病院など	・神戸学院大学、神戸原川学院大学、兵庫医療大学 ・理化学研究所など11の研究開発施設と158の医療関連企業（国内最大の医療クラスター） ・スポーツセンター、青少年科学館、博物館など

## 他都市の事例

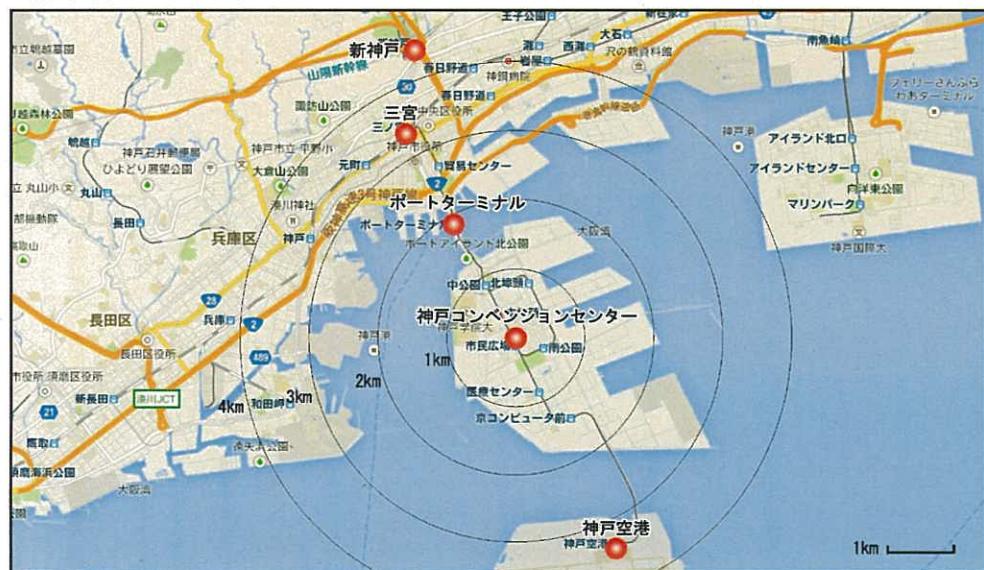
■福岡市（都心部ウォーターフロント）



■横浜市（みなとみらい21）



■神戸市（ポートアイランド）



■福岡市



■横浜市



■神戸市



## 他都市の事例

## 関連資料 7

### ■クルーズ客船施設

地区名	横浜市	神戸市	長崎市	那覇市	シンガポール
分類	横浜大桟橋国際ターミナル	神戸港中突堤ターミナル	松が枝国際観光ふ頭	那覇クルーズターミナル	マリーナベイクルーズセンター
地区概要	クルーズ大型化・複数着岸に対応 神奈川県横浜市中区	クルーズ大型化・複数着岸に対応 兵庫県神戸市中央区	クルーズ大型化に対応 長崎県長崎市松が枝町	クルーズに対応 沖縄県那覇市泊心頭	クルーズ大型化・複数着岸に対応 シンガポールマリーナベイの南西の外洋側
					
○近代港湾における本格的な港湾施設として、1889年から1896年にかけて建設された横浜港で最も歴史のあるふ頭 ○建設後100年が過ぎ、構造的な老朽化が進んだことや本格的なクルーズ時代に向けての全面的な改修を行うため再整備工事を行い、2002年に「横浜港大さん橋国際客船ターミナル」が開港	○旧居留地の南のメリケン波止場(現在のメリケンパーク)の西隣に大正時代に建設された突堤 ○2006年に外航客船も利用できる客船専用ターミナルとしてリニューアル ○神戸ポートターミナルに次ぐ神戸港の玄関	○長崎港は「史上最大の女王」と称される世界最大級の国際観光船クイーン・メリー2(151,400t)が初寄港し、日本で初めて観光船専用ふ頭に迎え入れるなど、日本有数のクルーズ客船寄港地	○これまで大型外航クルーズ船が定期就航しているにも係わらず、専用の岸壁やターミナルがなく、貨物を扱う岸壁を利用 ○平成17年度、港湾計画に位置づけ ○平成18年度、事業着手 ○平成26年4月、旅客船ターミナル完成	○近年クルーズ観光の需要が高まっていることに加え、クルーズ船が大型化し、既存のクルーズ船ターミナルでは大型客船が停泊できないことから、これに対応した新しいクルーズセンターを2012年に建設 ○クルーズセンターはシンガポール政府観光局が所有しており、現在開発中の周辺地域一帯も政府観光局が担っている	
クルーズ関連施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>水深11~12m、延長900m</li> <li>クイーンエリザベスII世クラスの客船が2隻同時着岸可能</li> <li>3万トン以下の客船が4隻同時着岸可能</li> <li>出入国ロビー(インフォメーション、船客待合所、発券カウンター、各種ショップ、カフェ等)</li> <li>税関、出入国管理、検疫(CIQ)、検査スペース、税関事務室、入国管理事務所</li> <li>大さん橋ホール(ホール、レストラン等)</li> <li>駐車場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水深9m、延長286m、5万トンクラス対応</li> <li>ボーディングブリッジ1基</li> <li>メリケンパークオリエンタルホテル(3~14階)</li> <li>ターミナル(ホテルの1~2階)には、CIQ(税関、出入国管理、動植物検疫等)施設、出入国検査室、出入国ロビー、送迎デッキ、チェックインカウンター、インフォメーションコーナー、売店、レストラン</li> <li>駐車場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水深12m、延長360m</li> <li>2009年、10万総トン級客船対応岸壁が供用開始</li> <li>北側の水辺の森公園にもクルーズ着岸が可能</li> <li>2010年、長崎港松が枝国際ターミナルビル(待合ホール、ギャラリー、観光案内センターなど)供用開始</li> <li>クルーズ客船が寄港していないときは、各種イベント・サークル活動等に利用</li> <li>駐車数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水深9m、延長340m</li> <li>ターミナル(税関・出入国管理・検疫施設、商業施設など)</li> <li>※客船の入出港がない場合は、多目的ホールとして使用</li> <li>駐車場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>22万トン級対応2バース、水深11.5m、延長720m</li> <li>大型クルーズ客船2隻が同時に寄航可能</li> <li>アジア最大の22万トン岸壁</li> <li>2012年、大型クルーズターミナルオープン</li> <li>ターミナル(チェックインカウンター、出入国カウンター、待合スペースなど)</li> <li>チャンギ空港と連携し、クルーズターミナル内で搭乗券を受け取ることができる</li> <li>駐車数</li> </ul>
周辺施設	山下公園、みなとみらい21、横浜赤レンガ倉庫など	<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸海浜博物館、神戸ポートタワー、フェリーターミナル(中突堤中央)、神戸ポートターミナル</li> <li>メリケンパーク、モザイク(商業施設)、赤レンガ倉庫、プロメナード(商業施設)、木屋町など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長崎ビースミュージアム、ロマン長崎会館、港湾合同庁舎、みなと長崎会館、ホテルなど</li> <li>グラバー園や大浦天主堂など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホテル、公園など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カジノ(マリナベイ・サンズ)、ホテルなどを含む総合リゾート施設が建設</li> <li>ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ(植物園)</li> </ul>
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>最寄り駅：日本大通り駅(徒歩7分)</li> <li>新横浜駅(新幹線)：JR・地下鉄27分</li> <li>羽田空港：バス45分</li> <li>成田空港：JR・地下鉄1時間55分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最寄り駅：地下鉄みなと元町駅(徒歩5分)</li> <li>三宮駅：地下鉄20分</li> <li>新神戸駅：徒歩・地下鉄15分</li> <li>神戸空港：車20分</li> <li>関西国際空港：地下鉄・バス1時間30分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長崎駅：路面電車15分、バス10分</li> <li>長崎空港：高速バスと路面電車40分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>那覇空港：車10分、ゆいレール21分</li> <li>国際通り：車10分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地から約5km</li> <li>チャンギ空港：車20分</li> <li>2014年にLRT南北線の新駅がオープン</li> <li>オーチャード20分</li> </ul>

## 他都市の事例

関連資料 7

■横浜市（横浜大桟橋国際ターミナル）



■神戸市（神戸港中突堤ターミナル）



■長崎市（松が枝国際観光ふ頭）



■那覇市（那覇クルーズターミナル）



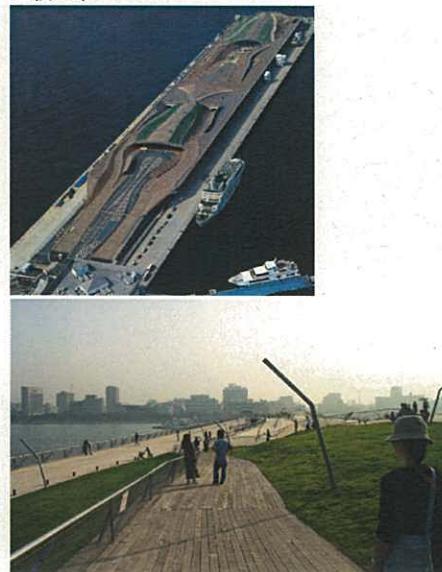
## 他都市の事例

関連資料 7

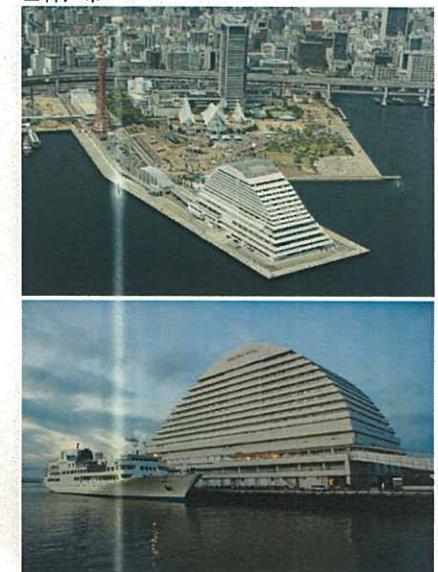
■シンガポール（マリーナベイクルーズセンター）



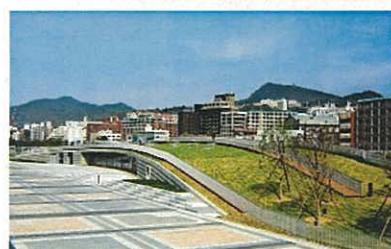
■横浜市



■神戸市



■長崎市



■那覇市



■シンガポール

